

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-527799 (P2011-527799A)  
 【公表日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-044  
 【出願番号】特願 2011-517429 (P2011-517429)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/00 5 3 3 J

G 0 6 F 17/30 4 1 3

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

G 0 6 F 12/00 5 0 1 M

G 0 6 F 17/30 2 4 0 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 24 年 7 月 13 日 (2012.7.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

クライアント装置上に少なくとも 1 の個人情報ファイルを作成する段階と、  
前記少なくとも 1 の個人情報ファイルの容量を追跡する段階と、  
前記少なくとも 1 の個人情報ファイルのステータスを表示する段階と  
を有する方法。

【請求項 2】

サーバへの接続又はサーバからの切断のために、前記クライアント装置上で前記少なくとも 1 の個人情報ファイルを選択する段階を更に有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 の個人情報ファイルのステータスは、前記個人情報ファイルの場所と、前記個人情報ファイルの使用済容量と、サーバとの接続ステータスのうち、1 又は 2 以上を有することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記クライアント装置上で個人情報ファイルを検索する段階を更に有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

個人情報ファイル内の少なくとも 1 の連絡先を更新するためのコマンドを受信するステップと、前記コマンドの受信時に、以下の段階をシングル・アクション内で実行するステップとを有する方法であって、

前記段階は、

サーバ上の、識別子を有する少なくとも 1 人の情報を含むディレクトリを検索する段階と、

前記ディレクトリにおいて前記少なくとも 1 人の識別子と前記個人情報ファイル内の前記少なくとも 1 の連絡先を比較する段階と、

前記少なくとも 1 人の識別子が前記個人情報ファイル内の前記少なくとも 1 の連絡先にマッチするかどうかを決定する段階と、

前記少なくとも 1 人の識別子が、前記個人情報ファイル内の前記少なくとも 1 の連絡先にマッチする場合、前記ディレクトリ内で前記少なくとも 1 人の情報で、前記個人情報ファイル内の前記少なくとも 1 の連絡先を更新する段階と

を具備することを特徴とする方法。

【請求項 6】

前記ディレクトリ内の前記少なくとも 1 人の情報は、役職、肩書き、勤務地、又は電話番号のうちの 1 又は 2 以上であることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記識別子は、名前、苗字、又は電子メール・アドレスのうちの 1 又は 2 以上を有することを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ディレクトリに含まれない前記個人情報ファイル内の少なくとも 1 の連絡先を決定するとともに表示するステップを更に有する請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ディレクトリに含まれない前記個人情報ファイル内の少なくとも 1 の連絡先を削除するステップを更に有する請求項 5 に記載の方法。

【請求項 10】

更新前に前記個人情報ファイル内の少なくとも 1 の連絡先のバックアップ・コピーを作成するステップを更に有する請求項 5 に記載の方法。

【請求項 11】

クライアント装置上に個人情報ファイルを保存する段階と、

少なくとも 1 のイベントの時間に基づき、前記個人情報ファイル内の少なくとも 1 のイベントを分析する段階と、

前記少なくとも 1 のイベントの時間が、所定の期間以前に発生していた場合、個人情報ファイル内で少なくとも 1 のイベントに付随する添付物を削除する段階と

を有する方法。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 のイベントは、カレンダー・イベントであることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記添付物の削除ステータスを表示する段階、または、

前記添付物の削除の後、前記クライアント装置上で使用可能な保存領域の容量を表示する段階

を更に有する請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

コンピュータによる実行時に、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法をコンピュータに実行させるコンピュータ実行命令を保存する、コンピュータ読み取り可能な媒体であるコンピュータ・プログラム製品。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法を実行するためのシステム。